

社 報



プロロジス舞洲



鋼製型枠



型枠脱型後



傷状の模様

清水建設の元請施工でプロロジス舞洲という現場で、当社が型枠工事を施工担当しております。

この現場は、平面的に大変大きな現場で、階高が非常に高いという特徴を持っています。6階建ての建物ですが、RC - SS工法という特殊な工法が採用されています。

RC - SS工法の構造は主に鉄骨構造ですが、柱だけが、RC構造になっていると工法です。

これは、柱には圧縮の力が大きく加わるので、鉄よりも圧縮力に強いコンクリートを柱に採用することによってコストを押さえようと計画された構造です。近年、鉄が高騰したことにより、注目されている工法です。

工法の主な手順として、

- 1 柱鉄筋組立て(先組工法)
- 2 柱型枠建込み
- 3 柱コンクリート打設
- 4 柱頂部鉄骨まんじゅう
- 5 鉄骨梁架設
- 6 床デッキプレート架設
- 7 柱頂部ダメ型枠設置
- 8 床コンクリート打設

というサイクル工程で行われます。

そして、この階高6m以上の独立

柱型枠を当社が施工しています。6mの独立柱にコンクリートを打設すると、側圧は約 $14t/m^2$ にもなります。これは壁型枠の $3.6t/m^2$ と比較すると約4倍もの数値になっています。恐ろしく大きな圧力が型枠にかかるわけです。

この側圧と1フロアに約150本もの柱がある独立柱を先打ちする型枠をどう作るかという課題が当社に与えられたわけです。

そこでいろいろと試行錯誤の結果、左写真のような鋼製型枠を製作し、30回以上の転用を目指して工事を開始いたしました。

ところが、工事開始直後に打設したコンクリート表面に傷状の模様が発生しトラブルとなりました。原因は鋼製型枠の垂鉛メッキと型枠剥離材が反応したものとわかりました。障害を取り除くべく様々な対策を講じながら工事を進めています。なかなかうまくいかない現状の中で、当社、竹島部長以下深見職長を筆頭に、スタッフ全員で、この工法を成功させようと頑張っています。

新しいことに挑戦するのは大変ですが、やらねばなりません。

社報は当社ウェブサイト(ホームページ) <http://www.forbuild.co.jp> に掲載中!

今月は通勤災害発生!

11月21日(月)17:30頃
平野町ビルの現場で仕事を終えて
単車で帰宅途中に車線変更してきた車に巻き込まれ負傷したもの。
被災者名:小嶋一穂さん
雇用会社:フォービル・竹島部

休業災害ゼロを達成しよう

休業災害ゼロは当社の悲願です。
森本工務店時代より休業災害ゼロは社報発行以来12年間一度もありません。
今年も残りわずか、休業災害ゼロを是非とも達成しましょう!

安全成績(H17年)

現場災害 H17.1.1-H17.12.8	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 4
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 4
交通災害 H17.1.1-H17.12.8	
人身災害	----- 1
物損災害	----- 1
合計	----- 1